

令和5（2023）年度群馬大学大学院生海外研究活動等奨励金 募集要項

令和5年12月25日

大学教育・学生支援機構

グローバルイニシアチブセンター運営会議決定

1. 趣旨

本奨励金の支給は、本学大学院生が海外において研究活動（海外研究活動）等を行うことを奨励し、それにより、高い専門性と国際的リーダーシップを備えたグローバル人材の育成に資することを目的としています。

2. 対象学生

本学の大学院正規課程に在籍する学生とします。国籍は問いません。

3. 研究活動等の内容・奨励金の支給対象

- ・ 本奨励金は、以下の研究活動等（令和5年4月1日～令和6年3月31日の期間内）の経費として支給され、これ以外の用途に使用することはできません。

(1) 海外における調査、研究活動

(2) 海外で開催される国際学会、研究集会等での発表^(注)

(3) 研究に資すると認められる海外でのボランティア活動やインターンシップ等

(4) 本奨励金の趣旨に合致するとグローバルイニシアチブセンター運営会議が認めるもの

^(注) 発表は、口頭・ポスター発表、司会（座長）、討論（コメンテーター）を含みます。

^(注) 質疑応答のみは認められません。

^(注) オンラインで開催される学会等は、発表を前提とした参加費（実費）を認めます。

- ・ 学内外の奨学金等との重複受給は可とします。ただし、先方が重複受給を禁止している場合を除きます。先方の重複申請及び重複受給の可否については申請者の責任で十分に確認してください。

※ 本奨励金申請時に、重複受給を禁止する学内外の奨学金等を申請している場合、双方の受給が決定した時には、どちらかを選択してください。

※ 当該海外研究活動が群馬大学学生海外派遣支援事業奨励金の対象プログラムの内容となっている場合は、対象外とします。

4. 募集人数及び支給額

- 当該年度の予算の範囲内において、
1人当たり、渡航先地域によって、アジア地域は5万円、アジア地域以外は10万円を上限とし、実費の範囲内とする。
- オンラインで開催される学会等は、参加費（実費）とし、1人当たり上限3万円を支給します。

5. 提出書類

(1) 群馬大学大学院生海外研究活動等奨励金申請書（様式1）

(2) 指導教員推薦書（様式2）

(3) 当該研究活動等を実施することが確認できる書類

（例）

- ・ 研究機関の受入許可証等（メールの写し可）
- ・ 国際学会等の開催通知、プログラム等役割が記載されている書類等の写し

(4) 振込口座等登録依頼書

(5) 通帳等のコピー（上記口座のカナ名義、口座番号等が確認できるもの）

以下は、帰国後速やかに提出してください。

(6) 往復航空券半券（搭乗証明書でも可）とEチケット控え

(7) 往復航空券の領収書

(8) パスポートのコピー（顔写真ページ及び今回の出入国スタンプページ）

(9) 現地の宿泊が分かる書類（宿泊費の領収書または宿泊証明書）

以下は、オンラインでの学会発表等の場合、入手次第速やかに提出してください。

(10) 参加費を支払ったことが分かる書類

6. 書類の提出期限および、提出先

- 提出期限 下記提出先に確認してください。

- 提出先

教育学研究科……………共同教育学部教務係

社会情報学研究科……………情報学部教務係

医学系研究科……………学務課学事・学生支援係

保健学研究科……………学務課学事・学生支援係

理工学府……………理工学部学生支援係

7. 審査方法および、支給対象者の決定

- 提出された書類を基に、別途定める本奨励金にかかわる「審査手順」に従い、各研究科等（1次審査）で審査を行い、グローバルイニシアチブセンター運営会議で最終審査および最終決定を行います。

- 審査は、1次審査として各研究科等で研究活動の内容について審査し、最終審査では、それ以外の条件等を審査します。
- 研究内容が不十分なものには本奨励金を支給しません。
- 最終の審査結果は、申請者が所属する研究科長および、申請者本人宛に通知します。

8. 実施報告および、本学の国際交流活動への協力

本奨励金の支給対象者は、帰国後1カ月以内に「**成果報告書**」(様式3)を提出するとともに、本学の国際交流活動に積極的に協力をしてください。

9. その他留意事項

- (1) 申請は、各年度1名1回限りとします。
- (2) 申請書等の記載および、提出書類に不備があるものは受理しません。
- (3) 申請に当たっては、安全保障上問題がないことを事前に確認してください。
- (4) 成果報告書の内容について、HP等で公開することがあります。
- (5) 本奨励金の支給対象となる渡航時期は、令和5年4月1日以降に出国し、令和6年3月31日までに帰国するものとします。

※ 同一年度内であれば、本奨励金の申請前に、対象となる海外での研究活動を行ったものについても、上記「2. 対象学生」の条件にあてはまる場合、申請できるものとします。

10 研究科等から海外交流課への書類提出期限・提出先

- 書類提出期限
令和6年(2024年)2月9日(金)17時
- 書類提出先
海外交流課 担当: 福島(内線: 7627)
E-mail: intl-office@ml.gunma-u.ac.jp

11. 問い合わせ先

越智 貴子
大学教育・学生支援機構グローバルイニシアチブセンター
E-mail: tochi@gunma-u.ac.jp
Tel: 027-220-7506 (研究室直通)

福島 健太
海外交流課
E-mail: intl-office@ml.gunma-u.ac.jp
Tel: 027-220-7627

令和 5 年（2023）度 群馬大学大学院生海外研究活動等奨励金申請書

No 1

学 籍 番 号		研究科・学府 課程・学年			
(ふりがな) 氏 名		専攻・講座など			
生 年 月 日	(西暦) 年 月 日生	分野・領域・コー ス・ユニットなど			
申 請 区 分 (該当する欄に○を記入)	1 海外における調査・研究活動 〔概要〕				
	2 海外で開催される国際学会、研究集会等への参加 〔役割（該当にチェック）〕 <input type="checkbox"/> 口頭発表 <input type="checkbox"/> ポスター発表 <input type="checkbox"/> 司会（座長）、コメンテーター（討論者）				
	3 海外で行うボランティア、インターンシップ 〔概要〕				
	4 その他（ ）				
期待される成果 (概要)					
参加形態 (該当にチェック)	<input type="checkbox"/> 現地にて参加 <input type="checkbox"/> オンライン（遠隔）にて参加（下記 2 点について記入必須） 参加のための登録費（ドル、ユーロ等）： _____				
渡航期間	(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日 (日間)				
[日 程]					
年 月 日	国 名	滞 在 地 (都 市)	研究機関等	滞在日数	備 考
	日 本	成田/羽田 発			
	日 本	成田/羽田 着		総日数 日	
他の助成について (該当にチェック)	本海外研究活動等に関して、 <input type="checkbox"/> 本助成の他の助成を申請している <input type="checkbox"/> 本助成のみに申請している 「本助成の他の助成を申請している」場合は、下欄に記載ください。				
助成の名称	助成額（月額・総額）	重複受給の可否	申請結果（未定の場合 は、決定予定日）		
	円				
	円				
	円				

[研究活動等の目的・必要性]

[研究活動等の計画・内容]

[期待される成果等]

[研究業績又は研究概要]

最近3カ年間に発表した論文、著書で本派遣に関連するものを選び、新しいものから記入。申請時において論文、著書がない場合は、現在の研究概要を記載すること(学会発表、研究報告も記載可)

氏名 (所属研究科・課程・専攻・学年)	発表論文名・著書名 (論文名、著書名、著者名、発表学会名、学協会誌名、巻(号)、最初と最後のページ、発表年(西暦)について記入してください。) (著者名が4名以上にわたる場合は、主な著者を3名記入し以下を省略する(省略する場合、その員数と掲載されている順番を○番目と記入)。なお、申請者にはアンダーラインを付すこと。) <u>※英文の場合は半角文字で記述すること。</u>	
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

様式 2

令和 5 年(2023 年)度 群馬大学大学院生海外研究活動等奨励金
指導教員推薦書

申請者名:

(推薦理由)

(申請のための要件確認)

本奨励金の募集要項「2.」及び「3.」を満たしていることを確認しました。

(西暦) 年 月 日

指導教員 所属・職: _____

氏名: _____ 印

様式 3

令和 5(2023)年度 群馬大学大学院生海外研究活動等奨励金成果報告書

グローバルイニシアチブセンター長 殿

(ふりがな) 氏 名		所属研究科 課程・学年	
研究課題			
期間(日数)	年 月 日 ~ 年 月 日(日間)		
国名及び滞在地	<input type="checkbox"/> オンライン(遠隔)で参加		
活動場所 大学・研究機関等 (学会主催団体)			
成果の概要	(本欄は必要に応じて拡大してください。)		

(注意) 成果の概要は、申請書に記載した研究等目的の達成度を含め、海外で行った研究活動等により得られた成果について具体的に記入すること。